



グラウンドワーク東海

第48号 News Letter

平成26年度通常総会開催

平成26年度通常総会、大江川バス視察、交流会を開催します。会員の皆様の多数ご出席をお願いします。

平成26年度通常総会

開催日時：5月24日(土) 11:15~12:15

会場：尾張一宮駅前ビル i-ビル6F 小会議室
議題

1. 平成25年度事業報告、決算報告
2. 平成26年度事業計画、予算案
3. 役員補充選挙～役員は昨年度2年任期で選出されていますので本年度総会では役員選挙はありませんが、欠員の補充選挙を行う予定です。
※正会員の方で当日欠席される場合は委任状を送付してください。

会員の皆様へ 定款に基づき総会での議決権行使にあたりましては平成26年度会費納入が必要です。同封の別紙「会費納入のお願い」により納入をお願いします。

大江川に親しむ バスによる施設視察

開催日時：5月24日(土) 13:30~16:30

集合場所：尾張一宮駅前

視察コース：

犬山頭首工内部を視察後、大江川の各所を視察
参加費：無料

※現場での解説は、東海農政局 新濃尾農地防災事務所(予定)

交流会

会場：尾張一宮駅構内 嘉文(かもん)

時間：16:30~18:30

会費：3,000円

参加申し込み要領

総会、施設視察、交流会への参加申し込みは事務局へメール(アドレスはトップに表示)またはFAXで下記の内容をお知らせください。申し込み締め切り5月21日(水)。なお、ハガキ等郵便による申し込みも同様とします。

- 【メールタイトル】グラウンドワーク 5/24 申込
【本文】①お名前、②会員・一般
③参加希望企画(総会、施設視察、交流会のいずれかよりお選び下さい)
④携帯電話番号(お持ちの方のみ)

昔は水銀の里、近年はお茶の里、これからはエネルギー自給自足の里？ 用水路発電活用と農村料理バイキング

三重県多気町の地域活性化現場を訪ねて

4月12日(土)竹谷理事長以下10名で立梅用水取水堰-中央構造線露頭-波多瀬発電所用水取



立梅用水取水堰



用水路発電機

水堰-中央構造線露頭-波多瀬発電所(立梅用水利用)-農業法人せいわの里「まめや」-元丈の里ゆめ工房と農業水路利用新型発電を訪ねました。

立梅用水土地改良区高橋事務局長からは農業用水路発電では波多瀬発電所(大正時代開始の全国でも最初の農業用水路を利用する発電)、ゆめ工房(廃止幼稚園建物利用)に隣接した最新型発電機(二重水車型の実験機でH26実用機設置予定)を説明していただきました。

落差50cmなので出力は小さいが、取り外しは容易なので増設して照明、農産品加工、獣害対策に利用し商品には「ALL地元原料、エネルギー利用の製品」を明記してブランド化の一助としたいとのことでした。

元丈の里営農組合深田組合長からは「ゆめ工房」では減反で空いた農地を何としても荒らさないと決意で60名の営農組合を作り、大豆、麦、米粉用米栽培に取り組み、特に米粉利用に力を入れているとのことでした。

しかし、米粉は自家製粉が難しく麺類用はできていないので、今のところ家庭用電気炊飯器で簡単に家庭でパンができる米粉への加工が主体となっているとの説明がありました。

ツアー参加者との意見交換では製品に元丈の里シールを貼って差別化を図る、料理コンテスト、老人デイサービス受け入れなど交流人口を増やすといった提案が出されたりと地元活性化の話で盛り上がりました。



「ゆめ工房」製品



意見交換会

平成26年4月現在アドバイザー名簿

グラウンドワーク東海では、事業実施にあたって行政上のアドバイスをいただくため、アドバイザーを委嘱しています。

本年度4月の人事異動で若干名の方が変わられましたのでご紹介します。

会員の活動実施のなかで行政の助言などを希望される場合はグラウンドワーク東海事務局へご相談下さい。

- | | |
|------|------------------------------|
| 和田充和 | 東海農政局整備部地域整備課長 |
| 中村和輝 | 中部地方整備局企画部広域計画課長 |
| 川瀬宏文 | 中部地方整備局河川部河川管理課長 |
| 堀江勝樹 | 中部地方整備局道路部道路管理課長 |
| 笠井泰孝 | 独立行政法人水資源機構中部支社
建設部水路事業課長 |
| 桂川直人 | 岐阜県農政部農村振興課長 |

- | | |
|------|--------------------------|
| 風岡嘉光 | 愛知県建設部建設企画課長 |
| 中根俊樹 | 愛知県農林水産部農村基盤担当
農地計画課長 |
| 平野 繁 | 三重県農林水産部農業基盤整備課長 |
| 酒井雄一 | 名古屋市緑政土木局企画経理課
主幹(企画) |

大江川ミニフォーラム開催

2月1日(土)午後、一宮市スポーツ文化センターで「身近な水空間を考えるー大江川ミニフォーラム」を参加者約40名で開催いたしました。概要はホームページに掲載しています。

意見交換では以下のように活発な発言がありました。

クリーン大作戦をいかに継続させていくか

・母体となる団体が継続して活動できるようにつなげていく



- ・市民団体が主導となり活動することで、身近な活動となっていく
 - ・子供達にとってもお年寄りにとっても市民に象徴的な川が大江川。小学校の頃から活動に参加してもらう事で中学生以降も継続して参加してもらえる
 - ・大江川も昔は水量も多く、フェンスが無かったが、児童の転落事故があり、フェンスが張られたあとゴミが増えてきたような気がする。フェンスが出来たことで市民から大江川が遠ざかった
 - ・大江川の清掃活動は他の地域でも行われているので、横のつながり重要ではないかと感じる
 - ・近隣の奥さんを巻き込んだ活動をしたい
 - 作業後、野菜を売る
 - 作業後、喫茶スペースを設ける
- ### 大江川でゴミがたまるのを防ぐには
- ・アダプトプログラムの手法で川の中の植栽の世話を出来ないか
 - ・役所から働きかけをして、それに近くの方に世話してもらう

- ・自分の家の前の公園を管理する
 - ・ゴミのポイ捨てが多い カラスが荒らす
 - ・PR活動により活動が知られることによりゴミが減る
 - ・子供と一緒に活動 ゴミを捨てる人にアピール
- ### クリーン作戦参加者の高齢化が問題になっている
- ・お年寄りは、社会に必要とされる事が励みになる
 - ・現在の子供達は塾や習い事で忙しい
 - ・子供がかわいいからこそ継続する事が出来た
 - ・大江川は生き物が少ない。水を少なくして生物調査を一度してみてもは。子供がどろんこになって喜びながら調査する
 - ・話し合いの場があれば、いろいろな意見が出る。

グラウンドワーク東海では以上のようなご意見を受けて、今後も大江川にかかわり他の活動団体の参考となるよう情報提供を続けていきます。

市民との関わり～これからも続けよう大江川クリーン作戦



理事長の説明



身近な水空間を考える
大江川ミニフォーラム

身近な水空間(農業水利施設)活用事例
～住民・企業・行政の協働による環境保全～
農業用水、排水用水、立派な水はか

NPO法人グラウンドワーク東海
理事長 竹野 裕之

グラウンドワーク東海のフォーラムは懇親会がセットです



NPO法人 グラウンドワーク東海 2014年2月1日(土)一宮市スポーツ文化センター



一宮市の市街地を流れる大江川(実は排水路)について、その歴史を学び、今後、地域の財産としてどのように市民は関わっていくのかについて意見交換をするミニフォーラムを主催しました。

つながると、ひろがるね!
ゆたかな環境づくり。

- ・桜並木や遊歩道があっという間に
- ・両岸は柵があって水面に入れないね
- ・三面張りで流速もけっこう早そう
- ・ごみ掃除が大変そう

大江川の成り立ち
～地域の財産としての大江川～

平成ホテルの会丸井邦春さん投稿

「大江川」に思いを果てる

わたしが住んでいる浅井町大野に「杵先」と表記される地名がある。古老の話によると、この地に木曾川から「大江川」に導水するための「大野杵」があり、その名残の地名だと話してくれた。<「杵」とは、取水口のことです。>

そして、子供たちが忘れないように後世に伝承してほしいと町内役員等に提言があり、宮田用土地改良区、関係先に陳情して、念願かない大野極楽寺公園内の多目的広場の脇

に「大野杵跡」の記念碑が建立されたのは、平成22年1月12日 谷 一宮市長ほか関係者の参列のもとで除幕式が行われた。その「大江川」の歴史は古く、約1000年前の平安時代中期までさかのぼり、長保3年(1001年)当時の尾張国国司であった大江匡衡により木曾川

の支流であった河川を改修して、尾張平野を潤す大規模な用水が造られ、その業績をたたえ「大江川」と名付けられたとされています。そして今から400年まえの慶長13年(1610年)に徳川家康が伊奈忠次に命じ、犬山から河口にいたる50kmの御園堤(堤防)が整備され、木曾川から何本の川を締め切り(瀬替え)これにより尾張平野一体が洪水の災厄から守られた。このため伊奈忠次は大野村(現在の浅井町大野)に大野杵を造り、木曾川の水を「大江川」に取り入れた。しかしこの杵も砂の堆積や流路の変化により水の取り入れが出来なくなり、寛永5年(1628年)宮田村に移転し、その後順次上流の草井と移転された。現在「大江川」は犬山頭首工で木曾川の豊かな水を取り込み、尾張西部地域を流れ一宮市から稲沢市を縦断して蟹江川に至り、その流路に沿う一帯の水田を潤し伊勢湾に注いでいる。近年生活汚水等流入により著しく汚染されるようになり、昭和44年に用水(暗渠)と排水の分離工事がおこなわれ、(昭和62年完了)用水の確保と稲作の安定に寄与し沿線には遊歩道が整備さ

れ市民の憩いの場として大きく変貌を遂げた。しかし、これにより満々と流れていた清流を見ることができなくなったのは残念であり、風景が一層されたのもいめない。今では桜の名所大乘公園から下流では環境に配慮した「桜並木」と「遊歩道」が整備され、新しい市民の憩いの場所として定着すると共に、この地域に新たな絆としてグラウンドワーク運動が生まれた。市民と企業・行政がパートナーシップを組み地域社会の活動が芽生え、平成11年から始まった「大江川クリーン作戦」も15回を重ね「大江川」を取り巻く新たなエポックとして、市民参加ボランティアの輪が広がっているのは喜ばしいことだ。このように「大江川」の歴史を振り返ると、一宮市憲章の前文に『わたしたちのまち一宮市は、木曾の清流と豊かな尾張平野にはぐくまれ・・・』と定められているように、太古より木曾川の豊富な水に潤い豊かな農作物が育つ豊かな地であり、いつまでも先人の偉業と大切な遺産を後世に伝え語りたいたいものです。

会費納入のお願い

既に平成26年度総会のご案内と合わせて会費納入のお願いを同封させていただきましたが、平成25年度会費未納の会員様は合わせて以下の口座へ納入手続きをお願いいたします。口座番号などは以下のとおりです。請求書が必要な方は事務局へメール、FAXなどでお知らせください。

金融機関	口座番号	口座名義
(振替用紙ご利用) 郵便局(ゆうちょ銀行)	00880-8-35758	NPO グラウンドワーク東海
(直接振り込み) 郵便局(ゆうちょ銀行)	記号 12160 番号 45969591	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海
三菱東京UFJ銀行名古屋営業部	店番 150 普通 番号 5759603	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海